

なか た ほんどうり 仲田本通商店街 (仲田本通商店街振興組合)

愛知県名古屋市

商店街は「地域コミュニティの核」 四季のイベントが街に人を呼ぶ



取組の背景

地域の高齢者と親子連れを 商店街に呼び戻したい

同商店街が位置するのは、地下鉄の2駅に近接し、高級マンション・レストラン・ショップが並ぶナゴヤセントラルガーデン、区役所・郵便局等の公共施設、すいどうみち緑道等の地域資源に恵まれたエリアである。

しかしながら商店街の認知度が向上しない背景には、次のような問題点があった。

- ①主要顧客の近隣住民が高齢化し、買い物に出かける頻度が減少している。
- ②ファミリー層や若年層が郊外の大規模小売店舗や、名古屋駅前に相次いでオープンした大型商業施設に流出している。
- ③後継者不足等の理由によって空き店舗が増加し、街の活気が徐々に失われてきた。

商店街の知名度を上げ、集客力を高めることが課題であった。そこで商店街を「地域コミュニティの核」と位置づけ、地域団体や近隣の専門学校と連携して定期的なイベントを開催し、高齢者や親子連れが安心して買い物を楽しめる環境づくりを推進することとした。



夏まつりの人出でにぎわうバス通り

取組の内容

楽しみ満載のイベントが 地域住民に笑顔をプレゼント

商店街が「地域コミュニティの核」となり、さまざまな世代との交流の場を設ける「安心安全なまちづくり」を開始した。行政機関、老人のリハビリテーション施設、デザイン専門学校等と連携し、四季折々のイベント

を定期的に開催することとした。

春「はなまつり」…4月上旬、名古屋市の商店街が中心となって開催する「な・ご・や商業フェスタ」に協賛。桜並木のすいどうみち緑道を中心に、産地直送の野菜や、おかみさん会の模擬店等で花見客をもてなす。商店街に八百屋がないため野菜販売は高齢者に好評である。

夏「仲田夏まつり」…7月に隣接の仲田銀座商店街と連携して開催。一帯を歩行者天国にし、阿波踊りや消防音楽隊のパレード、盆踊りを実施するとともに、会員商店が軒を連ねて出店する。千種区を代表する夏まつりとして多くの来街者で賑わう。

秋「秋まつり」…地域のNPO団体と連携した和太鼓演奏や出店のほか、愛知県・愛知県商店街振興組合連合会と連携し、防犯に役立つ安心安全グッズを無料で配布し、毎年長い行列ができる。商店街の社会貢献をPRする機会となっている。

冬「元気祭り・クリスマスフェア」…サンタクロースがお菓子を配るイベントや抽選会は子ども・親・祖父母に好評で、買い物客増加に寄与している。元気商品券(プレミアム商品券)は各店舗が工夫を凝らして参加することで、年末の消費喚起を図っている。

「一店逸品運動」…「逸品委員会」を設置し、各店舗が魅力ある商品やサービスの開発に取組んだ。商品開発に際して、近隣の高齢者や学生からも意見を聞いた。これによって高齢者の食べやすい食材・量のメニュー や、高齢者に喜ばれる商品(地元特産の八丁味噌を使用したベーグル、和菓子で作ったデコレーションケーキ、手頃な価格で少しづつ数種類の味が楽しめる晩酌セット等)が開発された。逸品は各店頭に共通のイーゼル(絵画やスケッチブックを固定する台)を設置し、店主自らが看板を手描きして魅力を発信している。

取組の成果

買い物を楽しめる街に増えた 高齢者と若者の姿

四季折々のイベントや一店逸品運動は、地域住民に

商店街の存在を周知し、高齢者に優しい商店街として認知度を高めるとともに、幅広い年代の消費者に買い物しやすい環境を提供した。

高齢者に対しては、一店逸品運動による商品開発のほか、定期的なイベントの際の高齢者の食生活や健康の相談コーナーの開設、AEDの設置、警察や行政機関と連携した安心安全活動等を推進した。これらの取組みの成果として、各店舗とも高齢者の来店頻度が増えている。

近隣の「あいち造形デザイン専門学校」と連携して毎年作成している商店街マップが好評である。カラフルでかわいいイラスト入りマップの効果や、イベントへのブース出店協力を通じて、学生が商店街を訪れるようになった。これに伴って、おしゃれなカフェやベーグル専門店、隠れ家的な飲食店等、若者向けの店が出店し、人気を集めようになった。

商店街の一日の歩行者通行量は、2015年の1,455人から2017年には1,505人と50人増加した。次は1,550人を目指に掲げている。

実施体制

同振興組合では理事長、専務理事、約10名の理事が協力して、若手の意見を取り入れながらイベントの企画・運営を推進している。千種区役所・保健センター等の行政機関、近隣のリハビリテーションセンター、デザイン専門学校、NPOと協力・連携体制を強化してきた。商店街のおかみさん会はイベントへの出店のほか、来街者の中心客層である中高年女性の目線を活かして、おかみさん会独自のイベントを実施している。



組合員と地域の子供たちのふれあい

キーパーソンからのコメント

商店街役員と女性部員が助け合い、商店街の発展に尽力しています

駅近くの大型店に地元住民の足が向かいがちなので、イベント等を見直しました。特に一番のイベントの夏祭りは、地域の人に喜ばれるよう知恵を絞りました。バスが通行する仲田本通を遊歩道に使えないか、各方面にお願いして3年越しで許可が下りました。午後7時から9時まで祭りを行い、思ったより多くの方が見えて売上も良くなっていました。現在は午後6時から行っています。

女性部会は商店街内花いっぱい運動を行っています。会員60名が歩道上の季節の花を年に3回、約1,000鉢を植え替え、毎週水曜日に花の手入れと清掃を行う活動です。四季の商店街のイベントも多くの女性部員が活躍する機会です。イベントは理事、監事16名と女性部員で役割を分担します。特に夏祭りは細心の準備を行い、ボランティア18名とも合同で会議を行います。



仲田本通商店街振興組合
理事長
渡辺 広志

商店街の概要

名古屋市内有数の繁華街であり若者でにぎわう地下鉄東山線の今池駅と、隣の池下駅の中間に立地し、店舗、公共施設、事業所、住宅等が混在した地域にある。周辺にマンションが建ち並び、人口も増加している。

振興組合は1963年に設立。商店街エリアは広く、飲食店、サービス、日用品を扱う店舗が多く、地域住民のニーズを満たす生活密着型商店街として役割を果たしてきた。周辺には大手スーパーも多く、来街者は近隣住民が主となっている。

商店街に隣接する、水道管の上に作られた「すいどうみち緑道」は美しい桜並木で地域住民の憩いの場になっている。「仲田公園」は地域住民のランドマークとして親しまれている。

- 所在地 愛知県名古屋市千種区仲田
- 人口 約17万人(名古屋市千種区)
- 電話／ 052-763-7373
- FAX／ 052-763-7374

- URL <http://nanda-nakata.com/top.htm>
- 会員数 77名
- 店舗数 77店舗(小売業20店、飲食業23店、サービス業25店、不動産業4店、医療サービス業4店、その他1店)

- 商店街の類型 生活支援型
- 主な客層 主婦、家族連れ(親子)／50歳代、60歳代